



## 大学の近況について

学長 三浦 正



大学は、2008年4月発足以来、本年（2010年）4月で3年目に入りました。5月1日現在の大学、短期大学部在籍者数は、594名（その内男子学生数は75名）となっています。この間、学生教育支援に寄せられた、同窓会からのご芳志に対し、深甚なる謝意を表します。

大学教員は、この3年目で就任予定者が完全に揃いました。教員数は大学が38名、短期大学部が16名です。

本年（2010年）4月から就任された教員は、幼児児童教育学科の岩田純一先生、畠山祥正先生のお二人です。岩田純一先生は、発達心理学がご専門であり、長いこと京都教育大学教授として教員養成に、また同大学附属幼稚園園長として子どもの発達研究に関わってきました。著書は多数出版されていますが、最近の一冊としては『子どもはどのようにして〈じぶん〉を発見するのか』（フレーベル館）があります。

畠山祥正（よしまさ）先生は、我が国を代表するフレーベル研究の第一人者です。茨城キリスト教大学大学院研究科長の要職にあつたにも拘わらず、北陸学院大学のために駆けつけ、大学人間総合学部長として働いてくださいます。

大学にはいくつかの特徴ある取り組みがあります。

その一つはリメディアル教育の実施です。最近の大学入学者は基礎学力に欠けるという批判をよく耳にします。本学への入学生もその例外ではありません。このような事態に対応するため、本学では昨年度からUniversity Study Support (USS) と呼ばれる補習教育プログラムを実施しています。

次に挙げられる取り組みは、地域貢献活動です。これは毎年、一般社会人や専門職業人、また高校生などを対象に公開講座を実施していることです。講座プログラムに関する詳細は、本学の地域教育開発センター (Tel. 076-280-3854) 宛てご照会下さい。

## 先達の働きに学びたい

大学人間総合学部長 畠山 祥正



大学設置3年目を迎えたこの4月に人間総合学部長として赴任いたしました。同窓会のみなさま、どうぞよろしくお願いいたします。設置3年目というのは踏ん張り時です。3年次生の実習計画具体化などを確実に履行できるよう教職員共に力を合わせて取り組んでいるところです。

このたびの同窓会総会では、会員各位のご配慮により、大学卒業者をも受け入れる同窓会の形に整えていただきました。これにより短期大学部から編入した現4年次生も卒業時に同窓会に加わることができます。ご配慮に心から感謝申し上げます。

私はこの3月末まで茨城県日立市にある茨城キリスト教大学に27年勤めていました。幼稚園の創始者フレーベルの思想とキリスト教のかかわりというテーマに取り組んでいたため、キリスト教・幼児・教育史への関心から、北陸学院の幼稚園が日本に現存する最も古い私立幼稚園であるということは知っておりました。

本年は学院創立125周年にあたります。「北陸学院百年史」などをめくってみますと、この学院が歴史を意識して歩んできたことに気づかされます。

いくつもの紆余曲折があったようです。当初もそして中途でも道は決して平坦ではなかったことでしょう。でも、時がよくても悪くても地道に底辺を支えてくださった方がいたのではないかと、辛い時にも笑顔で教え子に接していた教職員の方がいたのではないかと、そんな想像をしながらページを開いています。

同窓生の方たちも学生としてその歴史にかかわられたのです。歴史的資料がどのように保存されているのか、私はまだほとんど知りませんが、実は一般に学校史で把握が難しいのは、行われていた授業の具体的内容と方法です。みなさまのお手元に残されているかもしれないノート等には史料的価値があります。史料を大切にしていきたいと願っています。

### 北陸学院創立125周年記念式典のお知らせ

9月11日(土) 13:00~14:00 感謝礼拝  
14:30~16:00 北陸学院物語

於：本多の森ホール



# 第10回北陸学院大学短期大学部同窓会総会特集

## 総会のご報告と御礼

同窓会会長 相坂 国栄

皆さまこんにちは。去る5月15日（土）第10回同窓会総会の折りには、多数のご来賓の先生方ご臨席のもと、全国各地より多くの会員の皆さまにご出席をいただきましたことを改めて厚く御礼申し上げます。何分にも不行き届きな点が多々ございましたが、お陰さまで無事に終了することができました。誠にありがとうございました。その後「楽しい同窓会だった。次回もまた出席したい。」などの感想を多数の方々より寄せいただき、役員一同、大変喜んでおります。また、反省点につきましては今後に生かして参りたいと存じます。

「総会特集」を企画いたしました。どうぞご覧ください。今回の総会で例年にない二つの議案が承認されました。このことを出席されませんでした会員の皆さまにもお知らせしたいと思っております。

その一つは、同窓会の名称変更です。今年度末に北陸学院大学2010年度卒業生を迎えることとなります

ので、「北陸学院大学同窓会」と名称変更をいたしました。二つ目は、富山支部の設置です。同窓生は石川県内に最も多く在住していますが、次に多いのが富山県です。現在も富山県から多くの学生が入学していますことから、同窓会富山支部を設置することとなりました。今後の支部の活動を期待いたしております。これらの議案承認に伴ない、同窓会会則の改正も承認されました。その他、活動報告・計画、収支決算報告・予算、役員名簿などは別面にてご覧ください。

幸いにさわやかな五月晴れに恵まれ、喜びと感謝のうちに会を閉じることができました。今後とも同窓会に温かいご支援とご協力を賜わり、より一層の親睦を深め、母校のさらなる発展を祈りつつ、母校を覚えて寄与することができるようでありたいと願っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

総会終了のお礼のご挨拶とさせていただきます。

## 総会 プログラム

### 第一部

#### 礼拝

- ・讃美歌 18「心を高くあげよ！」
- ・聖書 マタイによる福音書 11章25～30節
- ・奨励 学院長 楠本 史郎 先生
- ・讃美歌 493「いつくしみ深い」

#### 総会

1. 開会のことば
2. 会長あいさつ
3. 議長選出
4. 議事
  - 第1号議案 2009年度活動報告および収支決算報告承認の件 監査報告
  - 第2号議案 同窓会名称変更の件
  - 第3号議案 支部設置の件
  - 第4号議案 同窓会会則改正の件
  - 第5号議案 役員を選出および任命の件
  - 第6号議案 2010年度活動計画案および収支予算案承認の件

### 5. その他

### 6. 閉会のことば

記念講演 北陸学院大学教授 吉井光信先生  
テーマ『現代社会と心のケアー豊かな環境へー』

### 第二部

#### 昼食 懇親会

- ・讃美歌 540「主イエスにより」
- ・あいさつ
- ・お祝いのことば
- ・御来賓スピーチ
- ・新任教授ご紹介
- ・大学各学科紹介
- ・在学生の活動より
- ・富山支部紹介 あいさつ
- ・各学科同窓生近況報告
- ・北陸学院校歌



学長 三浦 正 先生  
お祝のことばをいただきました。



名誉教授 番匠 光子 先生  
長い北陸学院との関わりを振り返ってくださいました。

開会礼拝説教

「わたしの轡を負いなさい」

学院長 楠本 史郎 先生



主イエスは「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのものに来なさい。休ませてあげよう」（マタイ福音書十一章二八節）と言われます。慰め深い言葉です。しかし続いて「わたしの轡を負いなさい」とも言われます。休みっぱなしではありません。新しいキリストの轡を負うのです。

しかしキリストの轡はよくできています。重さを感じません。しかも普通、二頭で一つの轡を負います。つまり私一人で担ぐではありません。主が共におられ、私の重荷を共に背負ってくださいます。だから、担ごうという意欲が生まれます。主の轡は軽いのです。

短期大学時代に、このみ言葉を聞いた方も多いでしょう。人生の節目でそれが甦ってきます。慰め、力づけてくれます。若い時に蒔かれたみ言葉の種が、今も心に残り、育っています。それが、今を生きる力です。



名誉学長 星野 命 先生  
栄光台讃歌を披露してくださいました。



栄光台讃歌

- 一 春、爛漫の花を追い  
緑濃さ増す栄光台  
医王・戸室を仰ぎつつ  
讃えん神の慈しみ
- 二 夏、炎天下ボール追い  
白きスカートひるがえし  
日本海を望みつつ  
明日に鍛えん乙女らは
- 三 秋、風にたゆとう芒花すすき  
紅黄の落葉地を掩い  
犀川のせせらぎ、ほの聞こゆ  
聖書をひもとぎ祈りせむ
- 四 冬、雪は丈余をなさずとも  
闇に歩まん道示す  
月、星、やがて陽も出でて  
友の笑顔を照らすなり
- 五 四季は変わらずめぐれども  
人は学びを重ねつつ  
心のうちに神宿し  
永遠の生命を求めむべし

作詩・星野 命  
(二九九四)

## 記念講演

講師 北陸学院大学 吉井 光信 教授

テーマ 現代社会と心のケア —豊かな環境へ—



北陸学院短期大学は長い歴史を経て、2008年には北陸学院大学として新たな一歩を踏み出し、今年で学院創立125周年を迎えました。この節目となる年に開催された第10回同窓会総会の記念講演では、「現代社会と心のケア —豊かな環境へ—」と題し、本学人間総合学部社会福祉学科の吉井教授よりご講演をいただきました。

## 略歴

1972 新潟大学医学部卒業  
1976 東京大学大学院博士課程修了(医学博士)  
1977 カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)留学  
1982 ノースウェスタン大学医学部助教授(シカゴ)  
1986 明治乳業ヘルスサイエンス研究所主任研究員  
1989 東京都精神医学総合研究所副参事研究員  
2002 同 参事研究員(研究部長)  
2008 北陸学院大学教授

## 現代社会と心のケア —豊かな環境へ—

太古の昔、海から陸へ上がった生物は、日夜の温度差、湿度の違い、潮の干満、季節による気候の変化を経験することになりました。このような過酷な環境変化に耐えられるよう、体が周期的に変化する仕組みができました。これが生体リズム(バイオリズム)の起源であり、それを司るのが体内時計です。心身が変調を来すとき、そこにはバイオリズムを軽視した生活環境があります。太陽が沈んだ後も深夜まで煌々と灯りがともる家々や街角、季節感を麻痺させる冷暖房完備の部屋、避妊のためのホルモン調節など、私たちの周りには体内時計を狂わせる文明の利器で満ち溢れています。

一方、高度技術化社会にあって、バイオリズムという生物学的制約を自在にコントロールしたがる文明人を多く見かけます。しかし、「脱バイオリズム化」とも言うべき体内時計無視の生活が進むにつれて睡眠のリズムが狂い、体調不良(自律神経失調症)となり、ストレスを感じます。経済の高度成長の始まった昭和30年(1955年)以降、現代病とも言われる「心の病」が急増しています。厚生労働省の統計によると、この50年間に精神科の受診者が何と6倍にも増えたということです。

統合失調症・気分障害(躁うつ病・うつ病)・不安障害(ノイローゼ)などの主要な精神疾患には脳の古い部分(本能をつかさどる大脳辺縁系)が関与しています。大脳辺縁系の不調が「体」に表れたのが自律神経失調症やストレス性疾患であり、「心」に表れたのが気分障害や不安障害で



す。統合失調症の真の原因は不明ですが、同様に大脳辺縁系が深く関わっていると云われています。バイオリズムが狂うと大脳辺縁系がストレスの影響を受けやすくなり、変調を来しやすくなります。

現代社会にある我々にとって、心のケアのためにはバイオリズムを維持することはとても大切です。

- (1) 朝は早く起き、陽の光を浴びること
- (2) 昼は仕事や勉強に集中し、頭や体を疲れさせること
- (3) 夕方は明るいところを避け、くつろぐこと
- (4) 夜は室内をできるだけ暗くし、眠くなったら寝ること
- (5) 己に忠実に生きること

以上の5つは自明のことですが、いざ実行となると容易ではありません。

現代社会は本能の活性化には逆境となっています。この逆風に立ち向かうには野生に立ち返る(野生回帰)ことであり、決断と勇気が要ります。

# 総会報告

出席者数 同窓生：115名 来賓：17名 計132名



**【2009年度(2009.4.1~2010.3.31)活動報告】**  
 2009年 5.16(土) 第9回同窓会総会 於 レストランMEGU  
 出席者：同窓生54名 来賓9名 計63名  
 7.1(水) 同窓会報「栄光台の薫風」第9号発行と送付  
 10.29(木) 同窓会賞授与式(栄光祭開会礼拝後)  
 10.31(土) 蚤の市 於：ライザー記念館1F「栄光祭」と同時開催  
 12.5(土) クリスマス会 奨励 勇 文人牧師(出席者18名)  
 2010年 3.15(月) 同窓会入会式(短期大学部卒業 新入会員 185名)

**【2010年度活動予定(2010.4.1~2011.3.31)】**  
 2010年 4.24(土) 役員会・幹事会  
 5.15(土) 第10回総会 於：金沢エクセルホテル東急  
 7月 同窓会報「栄光台の薫風」第10号発行と発送  
 10.28(木) 同窓会賞授与式(大学祭開会礼拝後)  
 10.30(土) 蚤の市 大学祭と同時開催  
 12.4(土) クリスマス会  
 2011年 3.14(月) 卒業感謝礼拝に引き続き 同窓会入会式

※2010年度、北陸学院125周年記念関係の諸行事が予定されており、同窓会ならびに会員の参加と協力が期待されている。  
 また、短期大学学部別同窓会が一体化し、「北陸学院短期大学同窓会」として発足して10年を迎える。

**2009年度 収支決算報告書**  
 自2009年4月1日 至2010年3月31日(単位：円)

科目	2009年度予算額	2009年度決算額	備考
前年度繰越金	2,069,330	2,069,330	
入会金	2,850,000	2,775,000	終身会費15,000円×185名
寄付金	500,000	636,595	蚤の市売上金259,715・クリスマス13,400・献金363,480
総会費	75,000	81,000	1,500円×54名
雑収入	30,000	56,143	利息・ファッションペーパー売上げなど
合計	5,524,330	5,618,068	

(支出の部)

科目	2009年度予算額	2009年度決算額	備考
行事活動費	380,000	383,941	
総会費	220,000	197,735	
蚤の市費	60,000	63,996	
クリスマス会費	50,000	45,509	
同窓会費	10,000	10,000	図書カード 5,000円×2学科
その他活動費	40,000	66,701	歓迎会費・郵送作業費・富士山訪問代
会報費	800,000	816,375	
管理経費	1,320,000	1,253,458	
通信費	150,000	74,805	会報郵送料・切手・その他
事務運営費	1,000,000	1,003,282	事務用品費・事務局費
会議費	70,000	114,050	役員会費
備品費	70,000	38,446	プリンターソフト
その他経費	30,000	22,875	
慶弔費	50,000	0	
奨学援助資金	500,000	636,595	特別会計①へ
積立金	0	0	
銀行預貯金	0	0	
予備費	2,474,330	0	
次年度繰越金		2,527,699	
合計	5,524,330	5,618,068	

特別会計①(奨学援助資金)  
 (収入の部)

科目	2009年度予算額	2009年度決算額	備考
前年度繰越金	4,167,773	4,167,773	
奨学援助資金	500,000	636,595	蚤の市売上金・献金
利息	3,000	1,332	
合計	4,670,773	4,805,700	

(支出の部)

科目	2009年度予算額	2009年度決算額	備考
奨学金	260,000	0	該当者なし
クラブ活動援助金	300,000	300,000	
振込手数料	420	525	クラブ活動援助金振込手数料
次年度繰越金	4,110,353	4,505,175	
合計	4,670,773	4,805,700	

特別会計②(周年記念準備金)  
 (収入の部)

科目	2009年度予算額	2009年度決算額	備考
前年度繰越金	2,001,212	2,001,212	
当年度繰入金	0	0	
利息	3,000	44	
合計	2,004,212	2,001,256	

その他別途積立金 期首(2009.4.1) 期末(2010.3.31)  
 定期預金 21,808,803 21,863,439  
 定期貯金 10,000,000 10,038,206

**2010年度役員名簿**

氏名	卒業学科	氏名	卒業学科
【名誉会長】 三浦 正	北陸学院大学学長		
【会長】 相坂 国栄	栄養専門学校	矢島 康子	教養学科
【副会長】 中島 明美	保育学科	福永 麻紀	人間福祉学科
和田 祐子	英語コミュニケーション学科	武居 秀美	コミュニティ文化学科
玉作 裕美	教養学科	大西 敏子	教養学科
丹尾 有希子	人間福祉学科	福本 伸子	保育学科
内堀 奈穂	コミュニティ文化学科	吉田 若葉	保育学科
【書記】 小川 和子	保育学科	森田 康子	保育学科
原 裕子	食物栄養学科	宮本 礼子	食物栄養学科
【会計】 木村美智子	保育学科	野坂 裕子	英語コミュニケーション学科
高岡美佐子	保育学科	中宮 晴野	英語コミュニケーション学科
【庶務】 黒杉 茂子	教養学科	小崎 悦子	英語コミュニケーション学科
【常任幹事】 森 正栄	保育学科	近岡 啓子	教養学科
横江 栄子	保育学科	馬場 裕美	教養学科
野沢宗都子	保育学科	鏑 正美	教養学科
新澤 祥恵	食物栄養学科	上原可奈子	人間福祉学科
吉國 厚子	食物栄養学科	池中 雅美	英語コミュニケーション学科
敷波 智子	食物栄養学科	宮丸 慶子	食物栄養学科
山下いずみ	英語コミュニケーション学科		

**2010年度 収支予算(案)**  
 自2010年4月1日 至2011年3月31日(単位：円)

一般会計  
 (収入の部)

科目	2009年度決算額	2010年度予算額	備考
前年度繰越金	2,069,330	2,527,699	
その他別途積立金取崩	0	4,000,000	2010年度運営費(定期預金取崩)
入会金	2,775,000	0	
前受入金	0	2,025,000	終身会費15,000円×135人
寄付金	636,595	500,000	蚤の市売上金・献金
総会費	81,000	0	2010年度は特別会計②
クリスマス会費	0	10,000	500円×20人
雑収入	56,143	30,000	利息など
合計	5,618,068	9,092,699	

(支出の部)

科目	2009年度決算額	2010年度予算額	備考
行事活動費	383,941	200,000	
総会費	197,735	0	
蚤の市費	63,996	30,000	
クリスマス会費	45,509	50,000	
同窓会費	10,000	20,000	図書カード(5,000円×4学科)
その他活動費	66,701	100,000	歓迎会費他(50,000円)、富士山活動費50,000円
会報費	816,375	800,000	
管理経費	1,253,458	1,320,000	
通信費	74,805	150,000	
事務運営費	1,003,282	1,000,000	事務用品、事務局人件費
会議費	114,050	70,000	役員会費
備品費	38,446	70,000	
その他経費	22,875	30,000	
慶弔費	0	30,000	
奨学援助資金	636,595	500,000	特別会計①へ
積立金	0	500,000	特別会計②へ
銀行預貯金	0	0	
予備費	0	3,717,699	
次年度運営費	0	2,025,000	
次年度繰越金	2,527,699		
合計	5,618,068	9,092,699	

特別会計①(奨学援助資金)  
 (収入の部)

科目	2009年度決算額	2010年度予算額	備考
前年度繰越金	4,167,773	4,505,175	
一般会計より	636,595	500,000	蚤の市売上金・献金他
利息	1,332	1,500	
合計	4,805,700	5,006,675	

(支出の部)

科目	2009年度決算額	2010年度予算額	備考
奨学金	0	260,000	
クラブ活動援助金	300,000	300,000	
振込手数料	525	1,000	
次年度繰越金	4,505,175	4,445,675	
合計	4,805,700	5,006,675	

特別会計②(全体総会・周年記念準備金)  
 (収入の部)

科目	2009年度決算額	2010年度予算額	備考
前年度繰越金	2,001,212	2,001,256	
当年度繰入金	0	500,000	
全体総会費	0	300,000	1人3,000円×100人
利息	44	500	
合計	2,001,256	2,801,756	

(支出の部)

科目	2009年度決算額	2010年度予算額	備考
全体総会支出	0	1,500,000	案内状郵送料 会場費 会費補助費など
125周年寄付金	0	300,000	
次年度繰越金	2,001,256	1,001,756	
合計	2,001,256	2,801,756	

その他別途積立金(2010年3月31日現在)  
 定期預金 21,863,439 (4月に2010年度運営費として400万円を引き出す)  
 定期貯金 10,038,206

# 懇親会



受付風景



全員で北陸学院校歌を合唱

北陸学院大学スイーツ研究所考案の“たけのこのタルト”がコース料理のデザートとして出されました。



左より 三浦正学長先生、保育科1回生 吉田真知子さん、青島博子さん、松倉達夫先生



懐かしい番匠光子先生と一緒に



栄養専門学院2回生曠川和子さん 同窓生を代表し、近況をご報告してくださいました。

『たくさんの人たちに、自分たちの作ったスイーツを食べてもらって嬉しかったです。これからも地元の野菜を使ったスイーツを研究していこうと思います。』  
by スイーツ研究所メンバー



北陸学院大学スイーツ研究所の学生が手作りクッキーを参加者全員にプレゼントしてくれました。



北陸学院大学のボードビルサークルのメンバーにより、素敵なパフォーマンスがありました。

『手拍子をしていただいたり、終わった後も皆さんに声をかけてもらって温かい雰囲気の中でやりやすかったです。懇親会にこのような形で出席させていただいて、同窓会の活動を知ることができました。』  
by ボードビルサークルメンバー

『とても温かく見守っていただけてとても歌いやすかったです。同窓会会員になっても皆さんの前でまた歌いたいと思いました。』  
by アカベラサークルメンバー



アカベラサークルに所属する学生による『TUNAMI』 『川の流れのように』の披露がありました。



東京や広島など遠方から参加して下さった同窓生の方々もおられました。懐かしい仲間とともに楽しい時間を過ごすことができました。

**松井 和子さん** 1989年度卒業  
英語コミュニケーション学科25回生

19歳で卒業して早や、20年。結婚までは自分のやりたいことを片っ端からやり、英語力を生かして、海外にも1人で行ったりもしました。出産を機に10年勤めた会社を思い切って退社し、子育てに専念しました。自分でも驚きますが、なんと4人の子に恵まれました。男2人に女2人。家の中はまるで保育園です。末娘が1歳のときに、仕事を再開しました。しかし、出産前とは違って、子供中心の生活を重視しています。本当に仕事と子育ての両立は大変だと、親の有難みを身にしみる毎日。中途半端が嫌いなこだわり派の私には、仕事に専念できない歯がゆさもありますが、子供の勝ち。子供を産むまでは、こんなに子供好きだとは思いませんでした。しかし、仕事から帰ると、まず、子供を叱ることから始めて、寝るまで叱りっぱなしのこともあり、後になって、(ああ、もっとこんな風に言ってくればよかった…)と反省することもしばしば。親も子に育てられているのだな、と実感しています。

最近出会った、言葉の中に「難のない人生は無難な人生。難のある人生は有難い人生。」という言葉があります。女性は結婚、出産により、人生をとても左右されるし、苦労もします。女性なら誰しも思うことだと思います。しかし、私は有難いことにこの言葉のとおり、有難い人生を送っているな、と思えるのです。難があるたびに、周りの家族や友人、そして新しい出会いに助けられたことに、とても感謝しています。子供たちにも、この言葉の意味が解る人間になってほしいと思います。また、子供たちと一緒に英語も再チャレンジしようと思っています。

**室賀真知子さん** 1959年度卒業  
栄養専門学院6回生

私は昭和55年7月に、金沢・健康を守る市民の会の健康づくり委員を委嘱され今年3月に退会するまで30年以上、この会で勉強してまいりました。その間に栄養士として自信もつき今日につながっています。50歳をすぎたから民間の会社の社員食堂で14年間昼食を20食ぐらい作ってきました。

**同窓生-ing**

母校で学んだことを活かして、  
さまざまな場面で活躍されている  
6人の方々をご紹介します。

そこをやめて間もなく幼稚園のランチを頼まれ、すぐやるつもりでお引き受けしたのですが週2回ということもあって今もつづいています。今年で7日目になります。

人数は前の会社に比べれば70食ととても多いのですが調理が好きなのでたのしく通っています。

3・4・5歳といった幼児が、「室賀さん今日のランチなあに〜」と声をかけてくれる。私にいろんなことを言ってくると本当に嬉しく元気をもらえます。1年間で本当に大きくなっていきます。それを見るのも楽しみです。キリスト系の幼稚園なのでなじみやすく行事も多く楽しみなことが沢山あります。今では生きがいです。いつまで行くことができるか分かりませんが誠心誠意、みんなの笑顔を見られるように食事作りに励みたいと思っています。まわりは若い人ばかりですがいろいろ教えてもらっています。

**谷島 杏奈さん** 2008年度卒業  
コミュニティ文化学科3回生

コミュニティ文化学科を卒業後、同志社女子大学に編入学し学びを続けています。

現在の私は、英米文学に興味を持ち、特にジェーン・オースティンの作品を基に、女性の生き方や当時の風習などを学んでいます。文学を通して様々な生き方に触れることで自分の考え方を深める機会になり、短期大学とはまた違った視点で日々勉強に励んでいます。

充実した大学生活が送れているのも、親身になって相談に乗ってくれた短期大学の先生方、共に励ましあう友人、見守ってくれる家族のおかげだと日々感じます。短期大学での授業や実習の中で自分のしたいことを見つけ、すばらしい人達に出会えたことは私にとってかけがえない宝物です。

これからも短期大学での学びを生かし、なりたい自分への実現に向かっていきます。先生方、これからもご指導よろしくお願いたします。

**細井 将大さん** 2008年度卒業  
人間福祉学科9回生

今から3年前、2007年に初の男子学生として北陸学院短期大学に入学しました。周りの学生は皆女子学生ばかりでとても緊張し、新しい環境での勉学に大きな期待をもって学生生活を送ってきました。教室での講義や演習、実習室での実技など介護福祉士の資格取得に向けた授業は毎日充実したものでこれからの福祉を担う者として必要な知識や技術を身につけるのにとっても役に立ちました。

2009年に本学が大学開校をするという話を聞き、短大での勉学を通して感じていた社会福祉士を目指したいという思いを実現するために本学の3年次編入をしました。短大の時と同じ学舎、馴染みのある先生方とより深い福祉の在り方について学んでいます。大学4年生となり、就職活動と並行して社会福祉士の国家試験にむけた勉強をしながら毎日の学生生活を送っています。今はまだ知識も技術も浅い未熟者ではありますが本短期大学・大学で学んだことを精一杯活かして福祉の現場で活躍できる人間になりたいと思っています。



**宮本 慶子さん** 1994年度卒業  
北陸学院短期大学保育科44回生

15年間勤めた幼稚園の現場を離れ、4月から北陸学院大学 幼児児童教育学科3年生に編入学しました。この年になって大学生になることには不安がありましたが、幼児教育についての学びを深めたいという気持ちが強く、編入学を決めました。大学生生活では、若い学生との年齢差を感じますが、目標を同じくしている者どうし、話題に事欠きません。授業では、個性豊かな先生方が歩んでこられた人生をも感じられ、いつも楽しく学んでいます。また課外の研究室でも、講義以外のお話を聞くことができます。先生と学生たちとの会話からはとても活気が感じられ元気をもらっています。先生と学生の距離の近さは、この大学の特色ではないでしょうか。まさに北陸学院大学は『人を創る大学』と言えるでしょう。再び大学生になって“何事にも遅すぎることはない”と実感しています。その人に与えられた『時』があり、その『時』でなければ感じたり考えたり出来ないことがあると思います。この大学によって自分がどのように創られていくのが楽しみです。

**虎谷千鶴子さん** 1973年度卒業  
教養学科5回生

「三小牛の自然に育まれて」

この春、久しぶりに桜満開の三小牛へお花見に出かけました。校舎を見上げる斜面に記念に植えた桜も立派に成長し、学び舎を築立って35年を越える時の流れを感じました。

思えば、聖書をひもとき讃美歌を歌った朝の礼拝。土に親しみ汗を流して取り組んだ園芸実習は、忘れることができない思い出です。

娘も扇が丘幼稚園に通わせて頂き、三小牛のお山での自然体験は特に印象深く、プレイデイの折、時の経つのも忘れて大空に向かってシャボン玉を飛ばしていた喜びに満ちた姿は、今でもはっきりと脳裏に浮かびます。

その後、地域の小中学校に進んでからも植物に興味を持ち、ナス・スイカ・トウモロコシ・ジャガイモ・あさがお・おじぎ草・ホテイアオイなどの野菜や草花を育て、毎年夏休みの科学研究に取り組みました。親子で力を合わせ、困難にぶつかりながらも、ふしぎを発見した時の驚きや感動は、ひとしおでした。

これも一重に学生時代の園芸実習体験と、幼児期の自然体験の賜物と、親子共々三小牛の自然と学びの日々に心から感謝しています。

私は、子供達と共に音楽を学ぶ日々を過ごしていますが、庭先のかわいい草花が、レッスンに訪れる子供達を迎えています。



## 同窓会よりのお知らせ

### 北陸学院大学同窓会 のみいち 蚤の市

栄光祭の一般公開にあわせて今年も秋に開催されます。

日時 2010年10月30日(土) 午前10時～売り切れ次第終了

場所 北陸学院大学キャンパス内

～ご家族、ご友人お誘い合わせお越し下さい～

コーヒー／紅茶／手作りクッキー・ケーキもあります。懐かしい方々の再会をお楽しみください。

### ぜひ献品にご協力ください!

9月初旬～10月中旬

- ★献品の内容★ ・日用雑貨品、衣類、手作り品等  
(新品のものをお願いします)
- ★献品の方法★ ・同窓会事務局へ持参または郵送  
(北陸学院大学同窓会事務局宛)



### クリスマス会

日時 2010年12月4日(土)

午後1:30～(受付1:00～)

場所 北陸学院大学キャンパス内  
「喜びと感謝のひととき」を過ご  
したいと思えます。皆様のご参加  
をお待ちいたしております。

(参加費 500円ご負担下さい)



### 一感謝— 奨学援助資金のための献金をお寄せいただいた方々 (2009年7月～2010年6月)

高森 敏子 (保育2)	茶幡 昌子 (保育12)	宮本 義弘 (保育58)	関 照美 (食栄1)	三井 玲子 (食栄4)	横山 康子 (教養1)
久保 澄子 (保育3)	江尻美根子 (保育2)	毛利美枝子 (栄専1)	智恵 (食栄2)	宮丸 慶子 (食栄5)	松浦 正美 (教養7)
森 正栄 (保育4)	江南 圭子 (保育13)	山本 千佳 (栄専1)	久世 睦子 (食栄3)	新澤 祥恵 (食栄6)	山田 由美 (教養13)
小川 和子 (保育4)	小川 澄恵 (保育16)	田辺登美子 (栄専2)	岡田 俊子 (食栄3)	野村 紀子 (食栄8)	高橋 美和 (教養14)
芦谷 玲子 (保育4)	土代久美子 (保育16)	柴田 信子 (栄専2)	久木 嘉子 (食栄4)	中村 正子 (食栄13)	高井 章子 (教養14)
加藤美奈子 (保育6)	川畑紀代美 (保育18)	間口まさ子 (栄専2)	小杉 直子 (食栄4)	西田 修子 (英語7)	矢地由紀子 (教養16)
野村 昭子 (保育7)	宮下 京子 (保育25)	栄専3回生同窓会出席者	金子 量子 (食栄4)	上田 優子 (英語8)	新 朋子 (教養17)
石田満寿美 (保育9)	島崎 良子 (保育25)	相坂 国栄 (栄専7)	地引 庸子 (食栄4)	角田 雅子 (英語13)	林 奈美 (教養21)
桐本真智子 (保育10)	川口 都 (保育26)	中村由美子 (栄専7)	石井和佳子 (食栄4)	神戸 敏恵 (英語14)	一川 夕子 (教養22)
中西 節子 (保育12)	熊田 凡子 (保育42)	竹内 恵子 (栄専10)	高井 明子 (食栄4)	村谷美有紀 (英語41)	山崎 京子 (教養22)

ご芳名もれがありましたら事務局までお知らせ下さい

計 60名 総 額 349,000円

### 管理栄養士国家試験受験対策講座(入門編)

今年度も管理栄養士国家試験受験対策講座を計画しております。日程等の詳細は8月以降に本学のホームページに掲載しますのでご覧下さい。

**開催日程** 2010年9月18日(土)、25日(土)、10月9日(土)、16日(土)、23日(土)、11月13日(土) 各日午前・午後の12回

**場 所** 北陸学院大学

**参加費用** 本学卒業生は無料ですが、教材費及び資料代が必要になります

尚、1月下旬より2月にかけて2回目の受験対策講座を計画しております。詳細は12月以降に本学ホームページに掲載します。

第24回管理栄養士国家試験結果が発表されましたが、本年も本学同窓生が健闘し、北陸三県の養成校4校の中では合格率、合格者数ともトップでした(専攻科を除く)。同窓の皆様で受験資格をお持ちの方もこれに続くよう頑張りましょう!

### 同窓会事務局より

同窓会の活動に関するご質問・ご要望・ご提案などがございましたら、どんなことでも同窓会事務局までお寄せ下さい。

◇開 室 日: 毎週月曜日、水曜日、金曜日

◇開室時間: 9時～15時

◇事務担当: 黒杉 茂子(教養科13回生)

### 【住所変更等のご連絡について】

①氏名(旧姓) ②卒業学科名、年度、回生 ③住所、郵便番号 ④電話番号を明記の上、書面、ファックス、メールのいずれかでご連絡下さい。

町村合併に関する住所変更については、追い追い更新しておりますが、なかなか手が回らない面もありますので、お気づきの点ございましたら、ご一報お願いします。

※会員名簿については個人情報保護法にもとづき、事務局で責任をもって管理しております。

■編集後記 今年も多くの皆様のご協力により「栄光台の薫風10号」をお届けできますことを心より感謝いたします。ご多忙にも関わらず原稿をお寄せ戴きました皆様には厚くお礼申し上げます。今年は北陸学院大学より当会へ初めての卒業生を迎えることができ、新しい繋がりが年々広がっていきまことを大変嬉しく思います。9月には北陸学院創立125周年式典が行われますが、皆様には更なるお力添えをお願い申し上げます。歩みを支えて下さる皆様に感謝するとともに、今後さらに皆様に親しんで頂ける会報誌作りを目指していきたいと思っておりますので、ご協力お願いいたします。

編集員: 新澤祥恵 吉國厚子 丹尾有希子 敷波智子

2010年7月1日発行

発行: 北陸学院大学同窓会

〒920-1396 金沢市三小牛町イ11番地  
ライザー記念館内

TEL/FAX 076-280-3830

E-mail/ jcog@hokurikugakuin.ac.jp

印刷: 能登印刷株式会社